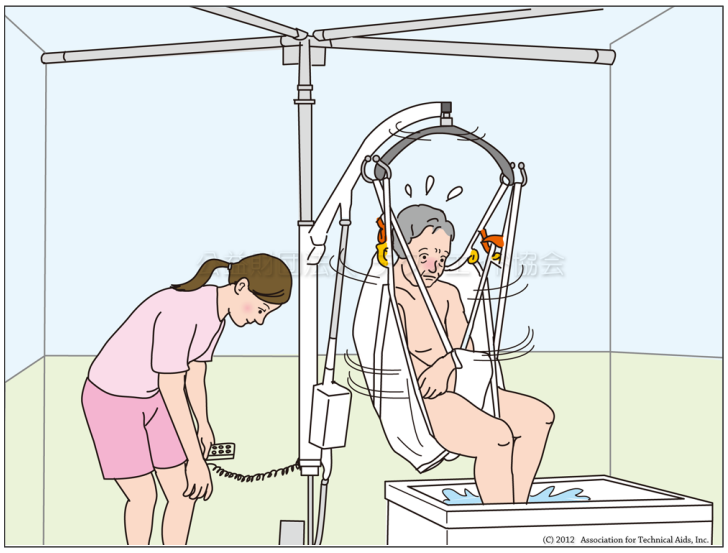
Case：83

リフトを使用中、利用者の身体が回転してしまう

場面の説明

浴室でリフトを使用中、介助者が利用者の身体から手を離してしまった



利用シーン	移乗 入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード(CCTA95)	123612 (住宅用設置型リフト)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

リフトでの移動介助は不慣れな利用者にとって、とても不安が大きいものです。このような不意な動きを予防するだけではなく、利用者が安心して移動できるためにも、介助者は常に利用者の身体を支え、無用な動きの無いよう注意しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：リフトでの移乗介助に不慣れであった
人：介助者が利用者から目を離してしまった
モノ：リフトがわずかに傾いて設置されていた

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.